

# Clean Air Program. Impact Report.

クリーンエアプログラム インパクトレポート： 2016 年第 1 四半期（第 1 版）



**ヒルトン・ワールドワイド  
アジア・パシフィック セールス担当**

**バイスプレジデント  
ルパート・ハーレムからのメッセージ：**

クリーンエアプログラムは、ヒルトン・ワールドワイド アジア・パシフィック全域の会議・イベント事業に共通している価値のあるプログラムです。弊社では各地域におけるローカルな取り組みを全面的に尊重し、グローバル市民としての役割をしっかりと果たしていく所存です。現在、大規模なカンファレンス施設を持つホテルを含む 70 以上のホテルがこのプログラムに参加しています。地域内でホテルの開業が続くことに伴い、今後さらにプログラムが拡大することを楽しみにしています。



**Climate Friendly CEO  
フレディ・シャープ氏からのメッセージ：**

ヒルトン・クリーンエアプログラムは、グローバル市民として真剣にその責任を担っていかうというヒルトン・ワールドワイドの決意の表れです。

このプログラムは、参加ホテルが競合ホテルと差別化し、付加価値を提供できる絶好の機会であり、クライアントが会議・イベントの用途でヒルトン・ワールドワイドのホテルを選択する理由につながります。

## ヒルトン・ワールドワイド・クリーンエアプログラムは、2015 年 5 月から 12 月までの間に 5,185 トン相当の二酸化炭素を削減しました。

**換算すると：**

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| 10,495 個     | 1 年間連続使用した場合の 60W の白熱電球の数    |
| 21,752,286km | 普通車での走行距離                    |
| 19,944 回     | シンガポール-ジャカルタ間のエコノミークラスのフライト数 |
| 171 回        | 地球一周のビジネスクラスのフライト数           |
| 1,153 個      | 二酸化炭素ガスが詰まったオリンピック競技用水泳プールの数 |

## CO2 排出削減がもたらすメリット

ヒルトン・ワールドワイド・クリーンエアプログラムは、温暖効果ガスの排出を削減する様々なプロジェクトを助成しています。こうしたプログラムは、単なる CO2 排出の削減ではなく、社会、経済、環境に対してもメリットをもたらしています。

| Project                           | Benefit beyond carbon                                                      |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| タスマニア原生林保護プロジェクト<br>(オーストラリア)     | 1,007 トンの CO2 を削減<br>123 ヘクタールのオーストラリアの原生林に相当                              |
| Yuxian Baiyantuo 風力プロジェクト<br>(中国) | 971 トンの CO2 を削減<br>中国の平均的な 872 世帯の 1 年分の電力を再生可能エネルギーで供給                    |
| 国内エネルギー効率化プロジェクト<br>(日本)          | 1,079 トンの CO2 を削減<br>日本企業による 1,950,000kw/時以上の節電に相当                         |
| 現代コジェネレーションプロジェクト<br>(韓国)         | 298 トンの CO2 を削減<br>大気汚染につながる排ガスを再利用することで約 450,000kw/時の電力を供給                |
| ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト<br>(マレーシア)       | 639 トンの CO2 を削減<br>3.8 ヘクタール以上の土地を再生し、オラウータンやテナガザルなど 340 種の鳥類、120 種の哺乳類を保護 |
| サイアムセメント・バイオマスプロジェクト<br>(タイ)      | 639 トンの CO2 を削減<br>再生可能エネルギーを利用し、170 時間分の電力をセメント工場に供給                      |
| オン河小規模水力発電プロジェクト<br>(ベトナム)        | 183 トンの CO2 を削減<br>ベトナム農村部の 434 世帯の 1 年分の電力を再生可能エネルギーで供給                   |
| ムシ水力発電プロジェクト<br>(インドネシア)          | 365 トンの CO2 を削減<br>大気汚染につながるエネルギーの代わりに約 492,000kw/時に相当するクリーンエネルギーを供給       |
| タミル・ナドゥ風力プロジェクト<br>(インド)          | 3 トンの CO2 を削減<br>大気汚染につながる燃料である石炭 4,531 キログラム分を風力発電で代替                     |

## ヒルトン・ワールドワイド セールsteamからのコメント：



プログラムがスタートして以来、クライアントからのフィードバックは極めて好意的です。多くのグローバル企業と仕事をしていますが、提案時にホテルが企業の社会責任に関してどのようなプログラムを実施しているかを聞かれるケースが増えており、そうした際にクリーンエアプログラムを紹介できるのは素晴らしいことです。クライアントも持続可能な社会に向けた取組みに賛同し、当社の地元密着型の取組みについて好意的に受け止めています。

**(コンラッド・シンガポール、Katherine Panahon)**



クライアントは、これまで以上に環境について色々と勉強しており、会議やイベントを行う際にも環境に配慮しているイメージを訴求したいと考えているようになっていきます。ヒルトン・ワールドワイドには、環境評価システム「LightStay」のように、私たちの努力をサポートするツールもあります。また当社のクリーンエアプログラムは、例えばベトナムのオン河小規模水力発電プロジェクトのように、それが何を意味するかについて具体的に伝えることができます。クライアント側に追加費用が発生しないことも魅力の一つです。**(ヒルトン・ハノイ・オペラ、Gagan Talwar)**



オーストラリアの企業では長年にわたり環境への意識が高まっています。そのため、会議によって発生するCO2を削減するプログラムが実施されていることはホテルにとって大変重要な要素です。クリーンエアプログラムの最も有効な点は、具体的に地域環境にもたらした成果と関連付けることができること、そして、クライアントとの会話において継続的に盛り込める要素であることです。**(ヒルトン・メルボルン・サウスワーフ、Jeroen Meijer)**

## ヒルトン・ワールドワイド クライアントからのコメント：



地域全体でヒルトン・ワールドワイドと取引を行っている当社では、サステナビリティの観点から地域の取組みをサポートするクリーンエアプログラムを高く評価しています。当社の法人クライアントは、環境に優しいホテル・企業との取引を望むことが多くなっています。また当社としても、社会にポジティブなインパクトを与えることと、自社のプログラムに対して企業の社会的責任を持つことに強くコミットしています。「私たちがすることはすべて善きことである」というのが当社の目標です。

**(BCD Meetings & Events、アジア太平洋地域担当マネージングディレクター、Lisa Hopkins)**



ヒルトン・ワールドワイドはグローバルでの主要パートナーであり、私たちは同社のCSR活動、特にアジア太平洋全域で実施しているクリーンエアプログラムを全面的に支援しています。ビジネスや商談において直接顔をあわせて対話することは重要であり、それに代わるものではありません。しかし、そうした会議には環境への影響が付きものであることも事実です。当社ではHB Caresと呼ばれるCSRプログラムがあり、「世の中のためになることがビジネスにもつながる」と信じています。

**(HelmsBriscoe、オセアニア地域担当バイスプレジデント、Susette Van Der Linden)**

## プロジェクトの進捗

ヒルトン・ワールドワイド・グリーンエアプログラムが支援するプロジェクトの最新情報をお届けします！

### 再生可能エネルギー提供の着実な継続と、ムシ水力発電プロジェクト（インドネシア）によるコミュニティへの貢献

インドネシア・ブンクル州で実施されているムシ水力発電プロジェクトは、毎年 1,140GWh のクリーン電力を生み出し、地元および地域のスマトラ系統の送電網に提供しています。これは、エコノミークラスによるフライト世界一周 80,877 回分に相当します。これは、ムシ河の流れを 3 つのタービンによって電力に変換することで実現されています。

このプロジェクトは継続的に大量の再生可能エネルギーを供給しており、2009 年から 2013 年までに 2,312,603 トンもの CO2 を削減しています。また、地元コミュニティも積極的にこのプロジェクトに参画し、昔ながらの地元の魚市場を設立し資金を支援しているほか、コンポスト（堆肥化）の無料トレーニングの実施、Talang Ulu 村の児童養護施設への寄付なども行っています。



### サイアムセメント・バイオマスプロジェクトによる 9,000 ヘクタールの廃坑の再生（タイ）



サイアムセメント・バイオマスプロジェクトでは、タイ国内の 5 つのセメント製造工場と協力し、毎年 600,000 トンの CO2 排出を削減しています。これは、オリンピック競技用水泳プール 133,473 個分の二酸化炭素ガスに相当します！これは、化石燃料から発生する CO2 をなくし、代わりにもみ殻などのバイオマス残渣を使うことで実現されています。プロジェクトの主体者は、使われなくなった石灰岩の石切場の再生プログラムを立ち上げ、セメント製造のための原材料はすでに除去しています。これまでに 9,000 ヘクタール以上に FSC（森林管理協議会）認証のユーカリが植えられ、地域の生物学的多様性が回復しつつあります。

注）これらはプロジェクト全体の進捗であり、ヒルトン・ワールドワイドの活動の直接の結果ではありません。

### メディア掲載：サステナビリティとカーボンに関するビジネスケース

このセクションでは、ホテル・旅行業界、ビジネス一般での企業責任やサステナビリティに関するニュースや記事の要約やリンクをご紹介します。

### サステナビリティにコミットする消費者ブランドはそうでないブランドより業績が良好

2015 年 12 月 10 日 - <http://www.nielsen.com/ug/en/press-room/2015/consumer-goods-brands-that-demonstrate-commitment-to-sustainability-outperform.html>

記事要約 - 世界の消費者の 66%が、サステナブルなブランドによりお金を払いたいと考えている - 2014 年から 55%増。ニールセン社は 2015 年 2 月 23 日から 3 月 13 日にかけて、企業の社会的責任とサステナビリティに関するグローバルなアンケート調査を実施しました。調査は、アジア太平洋、ヨーロッパ、南アメリカ、中東、アフリカおよび北米を対象としています。「世界消費者信頼感指数」を含むニールセンのグローバル調査は、2005 年に始まったものです。

### 国連、2017 年を「持続可能な観光発展のための国際年」に

2015 年 12 月 7 日 - <http://media.unwto.org/press-release/2015-12-07/united-nations-declares-2017-international-year-sustainable-tourism-develop>

記事要約 - 「2017 年を持続可能な観光発展のための国際年とする国連の決議は、経済、社会そして環境という、持続可能性の 3 つの柱に向けて旅行業界の貢献を前進させ、過小評価されがちなこの業界の本質について人々の認識を高める、貴重な機会です」と、UNWTO 事務局長 Taleb Rifai 氏は述べています。

### 持続可能な旅行：アジアの巻き返し

2015 年 5 月 13 日 - <http://www.eco-business.com/news/sustainable-travel-asias-catching-up/>

記事要約 - 持続可能な旅行の流れはたちまちアジア太平洋地域にも広がっています。これも、持続可能な発展に対する意識の高まり、そして、持続可能性を追求することの投資対効果を理解する、環境に配慮した旅行者やスマートなホテル経営者のおかげです。